京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

定價 本紙 一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲一ヶ年
廣告料 ▲普通活字一行金十五錢 ▲特別活字
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久勝一郎
發行所 京城西小門洞 京城新報社
振替口座京城四五六番 電話二一一番
仁川支局 仁川宮町三丁目
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜報

●堰の調査・修復

朝鮮の稻作は其面積頗る潤しと雖も年々の收穫未だ確實ならず豐凶の時に殊に甚しきものなるは幾多の原因ありと雖も要するに所在給水の不足其主因たるは疑なき事なれば古來より多數の堤堰を設けて灌漑の用に供したれども近來は概ね頽敗に歸して修理未だ整はず甚しきは貯水を廢して之を冒耕する者あるに付き農商工部に於ては去る明治四十一年六月を以て各府尹及郡守に訓令を發して遍ねく各地の堰及所在を調査せしめたる處其第一回調査は翌年を以て終了し引續き第二回の調査を進行し居りしが此分も近々終了に付き修役工事は調査着手の翌年、即ち去る四十二年より着手し本年度は壹萬五千圓の豫算を以て修復中なるが堰中の土、堤防破壞の場所等は地主又は小作人之れを擔當し水門等に要する材木及大工手間賃は石工手間賃の如き材料と工賃等は相當の補助を與へ荒廢の大なるもの就中效力の多きものより復舊し居るが頗る良好の成績を呈し居れりと云ふ

●大夏作物の發育狀況

勸業模範場大邱支場にて調査したる大夏中に於ける試作物の發育狀況を聞くに大麥は立夏以來氣候適順にして特殊の病害虫なく在來種は五月四日ゴールデンメロンは五月十日出穗したるが出穗後も乾燥の度宜しきを得たるため發育よろしく然れども附近農民の栽培する大麥には斑葉病、黒穗病の被害あり水稻は一時乾燥したるため用水に缺乏を來したるが稍遲れて六月廿一日移植したるが七月七八日の降雨にて生育の度を恢めつゝありしを七月十四日よりの降雨にて增水し一時浸漬したるも差したる被害なかりしが附近には洪水の害を被れるものあり大豆は五月十四日播種し六月二日發芽せり病害、虫の被害なく發育よろしく綿は乾燥したるため害虫發生せしも七月七八日頃よりの降雨にて其被害を免かれ發育良好なり

●朝鮮沿海の貝類

朝……餘りに重きを置かず僅かに蛤採取位に止まり例年の平均に依れば日人の採取する貝類の價格は三十萬圓にして內鮑二十萬圓、いがい二萬圓、かき八萬圓なり而して此採取したる貝類は多くは長崎を經て清國に輸出するを通例とす然るに鮑は十一月乃至二月末を禁漁し更に殼長部二寸五分以下いがいは三寸以下のもの採取し得ざる漁業令あるも要するに朝鮮海に於ける貝類採取は未だ極めて幼稚なるものにして潜水器及裸潜海士一人一日一圓五十錢乃至二圓に過ぎずと云ふ

●見聞錄

雜録　恐々縮々庵主人

▲芳賀文學博士は過日開會されたる朝鮮教育會の席上に於て日本魂の異稱を喝破（過日の茶袋にあり）し同時に朝鮮人の唐魂なるものを闡明されたしと說く彼に博士の言ふが如く大和魂にして唯に威張る意味にあらずして一面毅然として自己の人物を偉大に而して一種侵すべからざる氣魂を有するものたる理論より割出せば唐魂も亦自ら其の趣を同うせずんばあらず唯朝鮮は累年弊政の結果外部より此の唐魂を變色され漸次光澤なく而も物色すべからざる色彩を帶ぶるにいたり曖昧模稜の末終に大和魂の範圍內に轉がり込むの餘儀なき次第とはなりたる

東宮殿下近々行啓遊サルベキ北海道御巡幸青森函館間海陸聯絡線函館港連絡汽船ノ橫附ケニナリタルノ景

▲京城本町四丁目が五丁目に鶴屋といふ下駄商あり其店頭に山桐とも思しき一足の下駄を陳列し其の傍に下の如き文字記しあり寺內總督常履用鶴屋式金二十錢也と而して又本町三丁目伊藤組の店側に下の如き木札掲げある「總督御用車」と內々覗へば金紋黒塗護謨輪二臺備へあり並し一は下駄にして他は車なり足の用を辨ずるに於ては共に一なり然り足の用を辨ずるに於ては共に一なりと雖も總督の勤儉なる巳むを得ざる場合の外平素鶴屋の所謂常履用金二十錢也の下駄を用ふることならんと信ず

▲檜垣道長官は水道斷水に關し之れが復舊に盡力奔走せし當局の人々及水道局の職員を十日夕巴城館に招待し慰勞の宴を開かる慰勞可なり酒宴妨げず然れども現今の水道は最初の經營不完全にして將來も過般の如く破損を來すやも知るべからざる事は當局の夙て知悉せる所なりされば此際全水道の鐵管を實査して修繕を施すことは之れ刻下に於ける焦眉燃眉の急務ならずや要するに鐵管は個體なれども水は液體なり而も水は方圓の器に隨ふものなり

時事俳評

千春

△宋子と金氏自殺　灯は虫に取れて虫の倒れけり
△隈伯の滿韓漫航　山伏の貝吹いて來る夏行かな
△木內長官の辭任　凉しさや勸めすませて脫ぐ袴
△朝鮮師團增設案　稻妻や領地を護る常備軍
△南大門外の擴張　驛前の大道廣し夏の月
△米價暴騰と鮮民　炎天や呑む水もなき一ヶ村

文苑

●酒

オルハン生

青春の戀も味はず、再び來たらざる佳期を失つてしまつた、追恨の情と此世知辛き人間の社會から振り落された苦悶とは何に依て慰むることが出來やうか、詩なし、俳なき、無風流をや噫酒にあらずして何かあらむ、世の風浪酒のために日一日と衰へ行くと知りつゝも尙酒を去る能はざる可憐の者である、されど人は肉のみの生命にあらず靈ある神の御手に救はるることも出來ない自分は、辛烈なる酒に、陶然と醉ひたる瞬間が、其の生命である、自分は酒を好むのではない、只瞬間の趣味の忘れ難くして飲むのである。

前同斷函館小樽間ニ於ケル大沼公園ノ勝景

外事一束

△墨國　統領內相免職の騷動に當り宣言し曰く內政革新進行し二萬六千の軍隊は危急の秋生命財産を保障すと墨內亂習癖を爲す統領競爭マデロに抗
△レース　新に激浪の勢を以て蹶起上る內紛擾々外米國の垂涎あり三萬軍隊必覺悟何ぞ既に佛英資本家の手を引くあり今にして覺醒せずは百步讓
△上下　兩院統一黨提出政府彈劾案を以て在野黨一致否認案に關する政府作戰を暴露し政府も否認案を直に提出し新貴族を作らず分決投票斷行すと
△東鄕　大將四日夜九時雨中華盛頓に入る黎明記者の包圍攻擊あり但無怪我
△國會　近く數年後に在り如かも憲法起草未だ緒に就かず傳倫貝子載澤公は梁士貽を助手として聘せんと若し憲法發布なくして國會期迫らば何爲乎
△北京　露公使北滿鑛山の權利及境界問題に就て談判の衝に當る此他交涉無
△巴里　電曰く佛獨軋轢和ぎ形勢改善せるも獨の要求には頗る危險の點有り
摩國禁衛軍に對し退去平服從かと威嚇
△東三省　總督趙老へ病を推して北滿不良の候黒龍江地方に視察す蹇々匪躬の節痛に同情す可し從者數名萬事節略を旨とすと蹴近く見るべきあらん
△財政　審計所東三省財政統一の爲に總督の設くる所今財正監督榮厚の權限浸害也とて度支部撤回を命ず幾に全權を委ねられ今此干涉あり矛盾謂可

召使れ初

第百二十六回　黑法師

「私も察は存じある、平生から正直、道に外れた行爲もせぬ、假へ父の病氣であらうと、御法を輕んじ、塀を乘り越え、お庭の中を忍び出やうなど、不屆な行爲ある筈ない、それども孝道に前後を忘れ、大それた事致したか、恰例ではあれど年若く事に馴れいで、浮ど惡人共の手段に乘せられたか、捨ても置かれぬ、あなた思召し、まづ聞かせござりませ」と國尾は膝の進むを覺えず

「私も察の心は信じてござりますが、御門限に外れござりまするも、塀を越ねて宿元へ歸らうなど、左樣の望み起す筈あるまじう心得ます、されど澤野樣お目に入り、お庭數役人衆へ引き渡しある上、牧野樣へお願ひ御勘辨れ扱ひを乞ひ奉る外ござりませぬ、思召し什麼とあるでござりませう」とお道は困じ果てたる體

實にお察今夜の所業は、日頃の所業にも似ず罪深かりき、日頃は忠義の道一筋に、他目も觸れず進み行きたる身が、不思議にも道を曲げて、沢田の中に陷りたるも同樣なり、然も澤野の手に由りて、お庭數役人に引き渡されしは、國尾一派に取りて容易ならぬ珍事お察を憎む心よりは、是が爲め宮貴姬樣に迷累することあるまじきかを懸念することも頻なりき、お察いかに忠義召使なりとも、高が中年寄れ道の部屋子假にも御當家姬君に累を及ぼすべき筈なけれど、澤野の爲めに一人にても傷を受くれば、それだけ此方敗を取るなり、此方敗を取るは宮貴姬樣御勢力に傷くなり、國尾は只これぱかりを懸念に思ふ、お道は此外にお察可憐く同情の涙を注ぐ、さしも父の事懸念したる身が、假へ如何やう過失あるにも、籠の鳥同樣の境界となりて暗の中に父の面影憐ぶ憫れさ

明日天は白むとも、身に掛る疑ひ解けずば、一歩も外には出られまじく、御門の扉は開きても、身の運命開かずば、父の病ひを問ふこともあらざらん、うなた逢ひたきと聞じく、父上もさぞ逢ひたからん、然も今は罪人なり、此上は奥方お慈悲のお袖に縋りて、お察掛りを願ふべきか、お役人衆お手に托し置きては、容易く事の運ふこともあまじく、その間に思ひ痩せて、お察は牢獄の中に死なん

「私、お察の心の中不憫でなりませぬ、下司の身を恐れ多うござりまするも、奥方樣へお願ひ、お繫掛りを願ふこともならぬでござりませうかな」

「私もそれを存ずるが、背後には澤野どのれ付きなされてあるで、奥方お聞を反右にせまいとも限らぬ、假へ奥方お力でも、黒いを白いに爲させられる事協はぬでの」

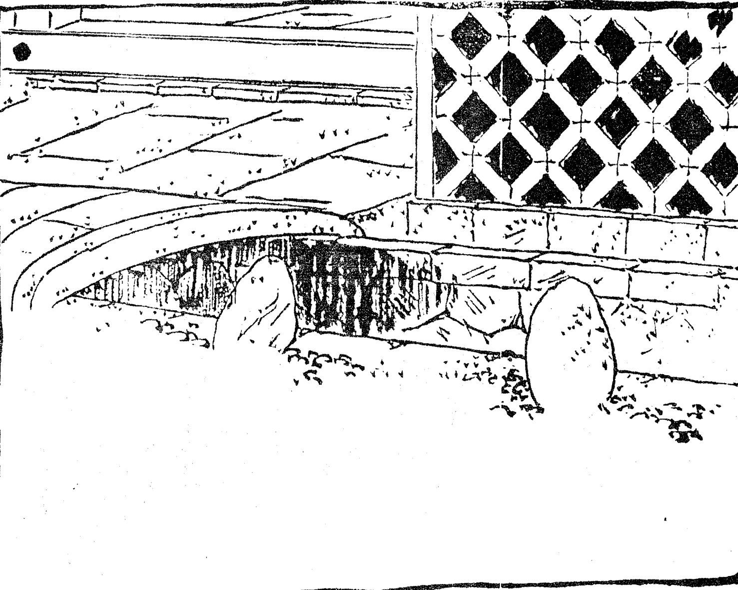
「さらばお察は、いつまでも助かる時ないでござりまする所、あはれにもた賤敷た役人衆お手で、恐しい獄門に掛るでござりまする所」

「奥方お聲を願はずとも、外に仕樣模樣あらうで、明日御門の開くを待ち、お察宿許の樣子見させ所、お察の宿は毛利甲斐守樣お小人を承はりある」

「御意にござりまする」とお道は國尾の口上、いかにも當を得たるに感じ「召使の者道はし見るでござります」

「私は合點の行かぬ事あるで、篤と入方に手を入れ見る、お前樣はさし當りお察宿許——九死一生の大綱と云ふた親ぞも容體見屆けるせでおりませ」

流石に國尾は老功なりき、お繫罪科を犯したる裏面に、黒き雲掛りあるべきを推量しき



東京電報

▲本年の米作豫想 農商務省の調査に係る本年各地の米作は今日迄生育良好にして過般の暴風雨の被害も僅少なれば今後の天候に激變なくば平年作以上なるべし

▲桂內閣壽命如何 政權受授の機微に關し受けたる政友會の一派中には現內閣の自滅する迄傍觀するの優れるに若かずとの意見を懷き居る者あつて尾崎、岡崎兩氏以外昨今井の角氏も之れに參加し實早論を唱へ居れり之れに對し貴族院山縣公の系政客中には擧覺、桂公の內閣明渡は軍備財政問題の難物に因るものなれば此に間師團增設海軍擴張の如き問題に關係せず時局を切り拔くるを得策なりとし頃來互に相往來して畫策する處ありしが其の結果假に增設師團は已むを得ず必要ありとせば選は陸軍の所謂玉手箱たる委任經理の蓄を割き自制自約して增設師團に變更を爲し海軍擴張は其最少限度の要求額とし更らに大修正を加へ現內閣の壽命を一期維持せしむべしとの小策を案出し寺內陸相の入京を待つて決する處あらんと

▲東宮殿下御出發 皇太子殿下には明十一日午前七時三十分上野發日光田母澤御用邸に行啓同妃殿下に御對顏の上兩三日間御滯在の上還御の旨仰せ出されたり

▲東海道線開通 東海道罹災地は爾來日夜兼行應急工事に努め居れる結果工夫人足の疲勞甚だしく殊に酷暑の候なるは線路上連絡旅客往來するを以て工事意の如くならざるも是非明十一日中には全通せしむる方針なり

▲東京市街浸水 東京市にては九日午後三時頃より驟雨あり夜に至つて豪雨に變し市街の大半浸水し昨年の大洪水の如き慘狀を呈するならん

▲東海道線不通 豪雨の爲め東海道線不通となりたるも明十一日午後に至らば開通すべし

▲總督の着京 寺內總督は十日午後二時新橋着李王世子殿下は十一日午後三時入京の豫定なり

▲靜岡縣下の洪水 靜岡縣下は洪水の爲め被害多大慘狀を呈せり

▲米國大使の轉任 駐日米國大使オブライエン氏は伊太利駐劄大使に白耳義駐劄公使チャールスブライアン氏は駐日大使に任命されたり

雜報

●吉會線踏査談 四國借款問題と共に視線を惹き來れる吉會線問題は滿國に於ても近頃內々技術者を出張せしめ實地踏査中なりと傳へられ居るが此程朝鮮より長春間を旅行せる或る一關は學術研究の傍ら所謂吉會鐵道の假想踏査を遂げ來れるものあり其談によれば吉會間の距離は約二百六十餘哩位なるべく是れ固より精査實測を遂げたるものにあらざるを以て或は夫以上の哩數となるやも知れざれど兎に角三百哩以內に止まるべし而して此間は多く一望千里の廣原なるも中央の地は概して峻嶮の高山なるを以て三ヶ所或は夫以上の隧道開鑿を要する個所あり隨つて此方面には多大の費用を要すべく曾て此地を横ぎり技術上の觀察を爲せる某外國人が吉會鐵道完成の概算費用は少なくも五千万圓を要すべしと斷言したるは如何にも至當の觀察にして單に線路敷設に關する材料及び隧道開鑿若くは取切り土工等の費用計算は他にも幾多の實例あれば自ら豫算編成上の標準を立つるに容易なるも何分材料の運搬上に非常の不便あり先づ材料運搬の輕便鐵道を敷設するの必要あり此費用のみにても數百萬圓を要する地勢なれば吉會線の敷設には比較的大資本を要し工事期間も亦長期に亘るべく到底安奉線工事の比にあらざるが如しと云ふ

●改定小作料實施經過 土小作料は本年より改定實施せらるゝ事既報の如くなるが改定小作料は一昨年來實地調査の結果に基き土地の面積地味の肥瘠等に依り適實に詮定したるものにして從前の不公平紛擾なりし小作料は今回の改正に際しては中間小作人を排除し政府と小作人と直接に小作契約を締約する事とし其の小作期間を五個年とし又小作權の確實を證するが爲各小作人に對し小作認許證を交付する等の施設をなせり而して各府郡に於ては過般來之れが實施に關し夫々準備中なりしが各地方とも格別の苦情もなく無事平穩に改定小作料を承認しつゝあり殊に從來中間小作人又は收租員等が任意に小作權を與奪せしも今後は小作期間を確定せしため五ヶ年間は安堵して小作に從事するを得る事となりしが爲め小作人は此點に付ては齊しく歡迎し居るが如し唯々西北二三府郡に於て苦情を唱ふるものあるも元來同地方は舊韓國時代に於ては交通不便なるがため收租に付ても中央政府の監督行屆かず他地方に比して小作料非常に低廉なりしが既に鐵道敷設、道路開通等交通上著しき變革ありしがため同地方の地價一般に騰貴し却て他地方に優るものあるに至りし以上は徒らに小作料を低廉に放任するの要なきに付今回相當增正を加へ多少負擔の增加を見るに至りしなり之れが爲め小作人等は不平を鳴らすに過ぎず然れども同地方に於ても改定小作料は民間小作料に比し尙低廉なるを以て官廳の諭示に依り何れも了解し漸次紛事に進捗しつゝあり

●養蠶奬勵と製糸業 目下朝鮮各道には授產事業として養蠶を奬勵しつゝあるが何れも結果良好なる者あり本年春蠶より產繭著しく增加を見たるも何分鮮人間には繭の販賣に關し從來餘り慣熟し居らざるため大概自家用として綿糸となすの模樣にて此際製糸業を起すとも繭の買入に非常に至難のものあるべければ當分二三年間は到底大規模の製糸企業を見得べからざるも一方製糸業の發達せざるに於ては如何に養蠶を奬勵したりとて其產繭の處理に苦しむべく或は內地に移出する方法なきにあらざるも運賃及雜費を要するため純利の減少となりて遂に其蠶業勢を減少するの恐れあり止むなくんば製糸業に對し當局に於て相當の補助を與ふるに至るならんかとの事なり

●漁業稅令の發布 漁業法の改正に付ては漁業稅令改正の必要あり當局者に於て調査中のところ既に成案となり法制局に送附したるに付き近日勅令を以て發布の筈なるが其內容は從前の制度と略同じく免許漁業許可漁業及屆出漁業の三種にして舊法とは著しき差違無しと云ふ

●京城水道實査必要 京城の水道は最近に於て三回の斷水を見たるが之れが破損の個所は既報の通り水源地纛島を距る七町藥師川の河底に埋設せる鐵管の接續個所が豪雨の爲め水量と水勢とを增し離脫せしものにして第一回は河岸第二回は河身第三回は中洲なるが此河底四尺の埋設にては淺きに過ぐるを以て京釜鐵道局にては近日中にヨリ以上の深さに埋設せんとの計劃あり尙右の破損個所は水源地より南山の貯水池にいたる迄其の間二百尺の急勾配を有する高所に送水する中間に當り居るを以て從つて水勢激しく且つ河底の事とて洪水の虞あれば將來は一層の注意を要すべし次に鐵管は二十吋なる鋼鐵なれば永遠に堪ふべく又其の他の設備として理想的と迄は行かざるも不完全の點とてはなく京城の狀態に適應し居るが要するに前記の如く河底曲折急なる個所又は鐵道及び電車の通ずる地下に埋設せる鐵管は固より相當の設備ありとは云ひ時機に應じて實査するを要すと當局の或人は語れり

●國庫金の現狀 朝鮮總督府に於ける國庫金の現在高は去る五日付にて四百四十餘萬圓あり此內三百九十餘萬圓は昨年度の繰越にして五萬圓は本年度に於ける收支計算の剩餘金なるが昨年度の繰越金中事業の繰延に依りて本年度に繰越されたるもの二百五十餘万圓あり殘り百三十餘萬圓は收入增加の純然たる剩餘金なりと云ふ

●臨時長官會議 十日午前八時より前日に引續き總督府に於て臨時長官會議を開き山縣政務總監以下各部局長官明石警務總長兒玉會計局長秋山參事官列席政務の打合せを爲し正午散會したり

●商工調査會と組合數 既報の如く京城同業者組合長十四名は九日午後五時京城日本人商業會議所に會合し商工調査會設置に關する件に就き審議したるが何れも賛成したるを以て近日中に總會を開き愈々設置の事に決定すべしと因に同業組合員は金物商二十四名材木商十一名土木建築業四十五名酒商十三名食料品卸商二十五名食料品雜貨商三十三名時計商十七名吳服商五名紙商十八名菓子商百五十名藥商五十名石油商十七名煙草組合四名古物商七十名商業會三十七名有價證券問屋二十二名酒造商精米商三名英米賞組合五名質商百四十名なりといふ

●紀念苗圃成績 京畿道にては本年四月三日管內各郡へ對し苗木並種子を送附し樹栽苗圃の設置を命じたるが其後成績頗る良好にて目下ポプラは高さ六尺、アカシヤも同じく五六尺、栗一尺五六寸乃至二尺、欅八九寸、松二三寸なるが松は二年後欅は四五年後、ポプラ、アカシヤ、栗は來春早々夫れ〴〵山へ移植する筈なりと

●牛乳搾取成績 朝鮮全道に於ける昨四十三年の牛乳搾取成績は左の如し

道名	營業者	乳牛數	一ヶ年搾取高	一ヶ年販賣高
京城府	一七	二〇八	三三九、九六	七五八〇四、四五
京畿道	九	四一	一五九、五六	一〇三七一、四〇
忠南道	二	二	一三、一三	一六一九、一〇
全南道	四	一三八	五一、八二	二三三五、五六
全北道	四	一〇	六八、四一	四六八九、二六
慶南道	一〇	七五	四四、一五	一一七〇七、七五
慶北道	七	二	七六、九六	四六二一、三〇
江原道	一	一	三五	一八、五〇
平安南	四	一三	一三三、九七	一三〇五八、七六
平北道	二	三	一一、八六	八三〇、五五
黃海道	二	六	一〇、八〇	三六〇、〇〇
咸北道	七	二〇	六〇、二五	三七六九、〇九
咸南道	二	一三	五三、〇五	三六四三、四〇
計	八一	五九七	二三三二、九四	一四二九一九、一三

而して種牛數は京城八、忠南四、全南七二、全北一、慶南一三、慶北一、平南一、平北二、黃海一、咸北二、計一〇五頭なりと尙は右の表に依れば平均一頭一日の分泌量は一升二三合にして需用者を全道人口の百分の一と假定せば平均一人一ヶ年の需用量は一升六合の割合なりと

●韓銀營業成績 去七月中に於ける韓國銀行の營業成績を聞くに入金二千七百七十四萬九千六百七十八圓出金二千六百八十五万七千七百六十三圓預金三百七万七千二百二十五圓貸金三百二十四萬三千一百三圓爲替受入二百四十萬千三百九十三圓爲替拂出九十三萬七千七圓なりと

●四銀行の支店設置 近來當地各銀行とも頻りに其發展策を講し居れるが今回漢城銀行は平壤に韓一は江景に慶尙農工銀行は補項に湖南農工銀行は論山に何れも支店設置の事に決定し近日開業の筈なりと云ふ

●教監講習會經過 新任教監講習會は去る七日以來連日午前八時より午後一時迄日の出小學校に於て開會中なるが今迄講習したるは李、玄氏の朝鮮語、弓削學務課長の朝鮮教育法規、小田編輯官の教科書取扱、石田視學官の朝鮮教育の沿革及狀況等にして尙は科外講話として藤原書記官の朝鮮依聽機關、鹽川事務官の朝鮮事情、奧貫技師の衞生講話等なるが講習生百三十餘名は一の欠席もなく孰れも熱心に聽講し各其質問を發する邊最も良好なりと云ふ

●各教監の參觀 別報講習會出席中の教監百三十餘名一行は十一日午後三時より昌德宮秘苑博物館動植物園等を參觀し十二日午後二時より龍山軍司令部總督邸を參觀する筈

●會計事務講習會 京畿道廳にては十日より向ふ十日間毎日午後一時より三時まで構內官化堂に於て道廳會計係り主となり各係及警察部京城府の有志者等約三十五名を會合し會計事務の講習會を開會する由なるが講習科目は會計法の概念を養ふ事及會計の實務に關する質疑を研究するにありて道長官及內務部長は本講習會の名譽顧問として十日の開會式には檜垣道長官より訓示ある筈なりと云ふ

●京城魚市場近況 日の丸及朝鮮水產會社魚市場昨今の狀況は夏季閑散の季に入り昨今水揚高各々三四百圓の間を往來し居れども價格は騰貴の趨勢を脫せず蓋し其原因は鐵道沿線の需要增加と內地に移出するものとにて常に品不足の嘆あり隨つて當地の需要者も旅館料理店下宿屋或は中等以上の生活するものゝみに止まり之等は價格の騰貴も多く掛念せざるもの如し而して此頃仁川より輸送せらるゝ重なる魚類は鯖鯛鮑海鰻等にして仕出地の仁川に次ぐものは釜山にして此他馬山鎭南浦より來るものあり尙十月下旬以後は例により仁川方面の漁業休止せらるゝを以て全部釜山邊より輸入せられ從つて價格の昂るを免れざるも魚類は概して仁川の方不味なり(當業者談)

●南大門土地收用令 南大門外の道路取擴の工事に關し一二地主間に於て其買收に應ぜざるものありしが右は愈々八月十日付を以て道路改修の目的に依り總督府に於て土地收用令に依り土地を收用する事を公布さる

●市內道路工事 南大門及銅峴道路擴張に付ては本月始より本工事に着手する筈なりしも家屋移轉其他の都合上本月下旬より本工事に着手する事となりたり

●穀物發着狀況 南大門及西大門驛にて昨四十三年一月より十月迄の穀物の出入數は發送米千九百三十五噸麥百八十六噸大豆二千九百二十一噸到着米二萬八千九噸麥二千四百六十七噸大豆二百五十三噸なりと

●昌德宮午餐會 昌德宮李王殿下には十日午前十一時三十分より同宮に李完用伯閔長官趙重應子小宮次官等を召され午餐の饗應ありたりと

●濟生院評議員囑托 總督府にては李王職長官閔丙奭子に濟生院評議員を囑托されたり

●水原米價騰貴 八月二日水原邑內及六日南陽郡內市日に當り米價一斗に付四五十錢の暴騰を來せるが右は實買仲介者たる斗量者等が米買占めを試みたるに因るものゝ如くなりしを以て所轄警察署に於て說示したる處相當相場に復したるも近來米價騰貴の爲め細民の困難其極に達したる折柄斯る奸商輩出し細民等は動もすれば不穩の擧に出でむとするやの聞へあり目下嚴重警戒中と

●群山通信(八月八日)

◎本年の麥作は終始氣候適順で收穫期に至る迄の間何等の災害をも被らず作柄至て宜しく一割の增收は確實にして今後は自然に麥の出廻りも昨年より多かるべしとの豫想なりしも今日迄の經過は事實之れに反して廻着皆無と云つても差支なく毎年小麥の取引最も盛なる客月廿九日江景の市の如きは一俵の小麥だに出品なく實に不思議に思はるしなれども大洪水後地方一般に米拂底せる折柄とて其出品なきも決して不思議ではない

◎洪水後當港の米價は品薄と氣構へ只上騰するのみで殆んど停止する處を知らないと云ふ有樣であるが此儘にして推移せんか當港の住民は近き將來に於て其需要米にも差支ゆるの危機に瀕せるを以て二三當業者は當郡既に此機會を利用して外國米の輸入を計り一は以て釜上騰せんとする米價調節の一は以て供給缺乏に際する苦痛を救濟するの目的を以て臺灣精白三百袋西貢及蘭貢精白各五十袋都合四百袋は過日既に試驗的に輸入せられしも其結果に就ては未だ聞く處がないから何等の評言を下すことは出來ない現に角當港の如き朝鮮屈指の米產地に於て外國米の輸入を見るとは從來になき新現象なれば人々皆奇異の思をなして居る

◎昨今は天候も全く回復したれど土用中のことゝて酷暑續くが如く毎夜十二時頃に至らざれば寢に就くこと出來ず之れが爲め夜の群山は公園は云ふもな海岸通り乃至山の手至る處觀風片手の納涼の客充滿し晝とは全く別天地の觀あり氷屋などの繁盛は實に素敵滅法である

◎斯樣に暑氣酷烈なる爲めであろうか夏期に於て殆んど一種の流行病の樣なる赤痢症の病氣は到る處に猖獗を逞ふし何れの醫者も大繁忙暑中毎年の書入季節かは知らねど本年は又格別報酬は必ず勞力に伴ふものとすれば本月末の如きれ醫者の會計帳簿は集金額に於て平常の月末に比し確に位一級を進めしなるべし呵々(愛水生)

●釜山の戶口數 釜山民團役所七月分の調査に據れば本港戶數は五千三百廿八、人口二萬四千五百八(內男一萬三千五百八十八、女一万〇七百二十八)にて前月に比し七十八人の增加なりと

●平壤燐寸會社計畫 本年五月中平壤方面を視察せし京都大阪地方の實業家視察團中の有力家にして現に奈良市に於て燐寸製造業に從事せる中澤熊五郎氏は朝鮮各地視察の結果大に平壤に望を囑し同地に燐寸製造會社を設立せんとの希望にて同民團役所に宛て職工の有無、勞銀の如何、現在販路狀況其他同業開始に關する必要なる條件を夫々質問し來りたりと

●教育會水練所 朝鮮教育會會金水練講習所は去る六日より麻浦對岸に於て開始したるが內地より招聘せる水練教師教授の下に當地中小學校の生徒百名餘は日々修業しつゝありといふ

●德壽宮の滿足 嚴妃御葬儀に際し愛國婦人會朝鮮本部よりは花輪を獻上したるが李太王殿下には特に李王職贊侍[illegible]

▲治外法權▼ [illegible]

仁川港出入船舶 [illegible]

京城手形交換高 [illegible]

多情多恨

飛び入り　仁川券番　知久子

土地ッ妓の左褄々の中へ割り込んだ、イヤ割り込ました知久子彼れは應來專門の多い朝鮮は仁川に在つて藝專門の色氣なし京城へ運んで來ても五とは下らぬ――と踏く肩入れをして居る人もあり且つは凉豪の浮世話し現角は淺くとも賑い方が可いとも云ふ人があるので仁川藝妓を代表して京城に暑中伺に來た奴を取つ捉まれた形で一寸一日丈け息繼ぎに聞いて綴く身の上話、生れは大阪の新町で親は代々藝妓置家を業とする、然れば彼れは幼少より見様見眞似に藝事が大好きで藝妓になりたい志望で一心に遊藝に出精した、孟母ならずも子女は其の育てる場所を撰ばねばならぬと感じられる、如何に藝妓置家を爲て居ればとて子供は必ず藝妓に仕様とは思つて居らぬ、兩親は様々に彼れの心を翻すべく努めて試たが三ッ兒の魂は百までもで先入主となつた彼れは藝妓を此上なき榮譽のものとして頑として其の志を翻さぬので今は其の心に任すより外はなくなつて十四歳の春若玉と名乗らせて出した、好きこそ巧手で二十四の秋迄面白可笑く日を送つて居たが縁あつて東京の骨董商山村某に囲記に成ることになつた全二年の后山村は家督は悴に譲る自身も老耄したと云ふので何分かの涙金を與れて切れて終つた、山村の老耄の原因或は若玉の祟りかも知れないのである、左様して且那も切れて見ると唯遊んで居るのは勿体ないとなる、さらばとて同じ土地から二度の勤も恥かしいと三十九年の十月

滿洲は大連の千勝館に抱られ**千太**と名乗つて現はれた當時の大連藝妓たるや小便は立つてするものと心得て居る連中のみであつたので忽ちの間に第一の流行妓となる間もなく請負師の佐藤某と關係が付い落籍されたのである、此れで順當に行けば何の事も無いが好事魔多し少時にして佐藤は失敗して朝鮮は龍山に千太は滿國天津に離れ〳〵て稼がねばならぬ事になつた、夫れも又少時にして佐藤は千太を龍山に伴れて來たが又候職際でも失敗して二進も三進も行かなくなつた何うしても三百と四百纏まつた金錢が無くてはならなくなつたので

前借四百圓で仁川淺岡から矢張り千太と云ふ名で、然るに夫れ丈では佐藤の穴埋に不足なので衣類や指環を入質して百八十圓と渡したが夫れでも運命の神は佐藤に左袒しない四十二年の夏遂に龍山を引揚げ東京に歸つて終つた爾來一方ならぬ世話になつて居るのが前の仁川病院長で現在龍山病院及び龍山松村病院長の**松村三省**君である知久子と改名したのは本年三月淺岡から券番に代つてからであるから千太の方が通りが可い本年二十九歳だと云ふが一寸見ると三十五六に見れる、**体量實に二十三貫**好んで角力甚句の「俺が國さ」を踊る、偉容堂々、千日前か淺草奥山に出ても大人三錢小人一錢の價値はある實に仁川藝妓中の異彩である

不貞な妻不實な友

▽友人の妻と姦通し
▽女房は女郎に賣る

長谷川町に元民團吏員たりし今西松次郎なる色男あり龍後郷里長崎に於て坂本ふじ子なる美人と私通し夫婦になる約束にて本年三月渡鮮し一時同棲せしが今西はふじ子を連れ渡鮮せしは眞に夫婦になる氣にあらずして一ッの悪策ありしと覺しく間もなくふじ子は二ヶ年間四百圓にて娼妓として**新町**

遊廓大桝屋に賣飛ばされたり大桝屋にては通規の手續を了し警察に同伴營業鑑札の下附を願ひ出たるに戸籍謄本及印鑑證明等が僞造物なる事を看破され願書は却下されふじは説戒放免となり今西は公文書僞造行使教唆犯として檢擧せられしが證據不充分の下に免訴となりたり然るに今西なる者は之より以前即ち昨年の民團疑獄事件の嫌疑犯にて一時拘引せられ居りしが是又證據不充分として免訴となりし當時同事件にて目下も尚は入監中の**末廣孝作**なる者より留守宅なる妻の世話を頼まれ歸宅後末廣の**留守宅に屢々訪問**せる**内妻君**と**深**しくなり當時本紙外各新聞三面の厄介になりしより末廣の郷里にては其の儘捨て置けずと家族を引纏め郷里大分に歸りたるに妻女と今西とは深く約束して別れしものか今西は長崎に歸省したるが前記の阪本ふじを手玉に取つて渡鮮せしにぞ末廣の妻女口惜かに逃げ來り末廣の刑期確定せしより民法の規定に基づき**離婚の理由**を**夫が懲役刑に處**せられたりとし訴訟提起準備中の由にて大桝屋にて下女代理中のふじ子も今は此の儘で濟さぬと警察に飛込むと思案中なりと

危險な六〇六號

▽森安博士の研究

總督府醫院開院以來梅毒必治藥六〇六號發行以來同醫院にて**注射治療**を受けたるものは實に**千六百有餘人**の多きに上ほれるが**經過不良**なるもの多數なるより**森安博士**は六〇六號の眞價を疑ひ**研究の歩を進**めたる結果最も危險にして其の効力も又決して世に傳へらるゝが如きものならざることを發見したり、元より躰質の如何に依りて相違あらんも注射箇所に紫斑ヶ遺すもの**餘病**を出すもの多く甚だしきは之れに原因して死亡するもあり現に同院にても**七八名の死亡**を見たる程なれば決して推獎するに足らずとて目下引續き熱心研究中なりと聞く

●仁川海岸の溺死

仁川府内面牛角洞十五統三戸金學瑞(三十)は九日午後一時五十分頃仁川稅關第三棧橋上にて足を洗ひ居たるに誤つて海中に墜落し時に潮流激しく且つ金は水泳の心得なかりし爲め見る〳〵中に彼方に押流さるゝより同橋上に見て居たる中洞二十四統四戸朴世宗(三八)は直ちに眞裸体に成て海中に飛び込み金を救助せんと數十間先き迄で泳ぎたるも尚潮流急にして已に金の姿は波に呑まれて何處にか失せけるより其旨急を水上署に告げければ係官出張附近の小舟を指揮し搜査せしも容易に見當らず午後九時に至り死体發見し係官出張檢視の上家人に引渡さる

●貨幣僞造者の捕縛

客年八月以來平壤隆興面辛泰元(三九)外三名は共謀して同所辛泰願方に於て十錢及び二十錢貨を僞造せんと企てし[illegible]藥品及器具類を[illegible]め僞造に着手せんと準備中なるを此の程平壤警察署に探知する處となり捕縛されたり

●龍山漢江に溺死

京城府龍山面砂村里九統七戸金某順二男金龍鳳（當四年）は九日午後五時實母尹召史が居村砂村里漢江河岸に繫留しある舟の上にて洗濯を爲し居る處に從ひ行きしが夜より墜落し溺死したり人の子の母たるもの能く〳〵注意すべき事共なり

●コソ泥捕はる 仁川居所不定韓國高(四七)は一昨日午前四時二十分頃仁川松坂町二丁目八番地の四池田久五郎方裏口より忍入り盥一個バケツ二個窃取逃走中を祈柄巡回中の森巡査に認められ捕はる

●主人の財布を盜む 旭町一丁目歌舞伎座内岡尾忠次雇人李成文(十九)は末正代吉と共謀して五日午前二時頃岡尾所有の現金九十八圓餘入り財布を窃取し南部署刑事に探知され目下取調中

●尻を五十發らる 尹致仁(三二)金東鎭(三五)姜弘連(三〇)朴萬國(二四)の四名は九日午後三時頃賭博の現場を檢擧され各笞五十に即決

●淸人赤痢患者死亡 原籍淸國山東省萊州府當時仁川京町一丁目二十二番地管銀慶は十日午前六時赤痢病にて死亡

平民文庫

▲下の如き投書が來た一字一句原文の儘で紹介する▲明治町一丁目のシヨド寺ノ。二十七八ノ。クヨボズワ。ニクイヤツ。大和町ノ野口ドノ。ニヨボヲ。ヨコドリシテ。ヨルモ。ヒルモ。マルノロケ。野口ノ。カナイモ。バカナヤツ。コドモノアルノニ。ワヅカノ。ヤチンモ。ポーズアタマニ。ヌスツリツケ。カワイソナワ。野口殿。八月二日としよがゝり御中樣▲振つたナア（ゞ僧）▲私は何屋と云ふ下宿屋の下宿人だ其向ふに京城一番の材木屋がある下女が二人居る其の内チイサイ下女は下宿屋に來て番頭さんと巫山戯るので僕等は迷惑する云々(下宿人總代)▲チト妬けると云ふ氣味かナ、ハヽヽヽ、(小僧)▲井門支店では美知枝、時枝が宗匠格で皆んな茶の湯を稽古して居る夫れから叶枝は三ケ月れ職と張り通したので祝を新町中へ致た(廓通)▲僞いッ、併し能くマア身体の續くことだ此の暑いのに(小僧)▲京城日報にいつぞや總督府令夫人女學校を巡視せられ何時御歸邸せられたり」とあつたが夫人何の權限あつて女學校を巡視するか云々（非忠犬生）▲斯ら云ふ言葉咎めは巡廻の巡は巡邏の巡でめぐるいゝ巡視の視は觀察の觀でみるめぐりみると解して可からう何分新聞の事で急ぐ際だから人に解る程度で見て頂きたい序を以て申すが貴君の如に京日子の事を投書される方があるから警せる、ツーすると夫れが怒つて女郎の泣き言の如な當て擦りの如なことを聞かされるのだから此れらはヨク〳〵の事でなくては御勘辨を（小僧）▲花柳便りに消息の出ないのは何うした譯か伺上候(新町廓雀)▲噂を耳にせぬから申して居ります他に原因なし（小僧）▲谷岡君此頃一時は蓄財をなし金貸やら某々等二三の者へ資金を貸與し開業せしむる等又自己には貸借の方付かず館開業する由にて目下着々と秘密に準備中にて中々日の出の勢なるが此の貸金や開業すべき資金は果して正當に利得せしものなるや（同郷の知人）

サッポロビール

●家庭新聞社伽芝居

朝鮮家庭新聞社主催のお伽芝居は愈々十日午後六時より壽座に於て開催せし筈なるが家庭的娛樂に乏しき當地の事とて一般の歡迎する所となり見童の如きは數日前より待ちあぐみ居れる狀況なりと云へば甚だしき盛況を呈するなるべく且つ各商店新聞社通信社等より夫々物品の寄贈あり十日、十一日兩夜に分ち抽籤にて適宜配付すべしと云ふ尙は盛夏の折柄と云ひ劇場の定員より且つ數會の際混雜の虞もあれば多數の見童を同伴さるゝ保護者は適宜兩夜に分ちて來觀せられたしとなり

●青木堂の食堂開始

豫て新築中なりし京城本町一丁目青木堂の理想的食堂は漸やく落成し此の程より開業したるが階下は例の歐米各地の粹を蒐めたるデパートメントにて階上は大食堂及び小食堂等の設けあり多勢の宴會にも又た一人づゝの食事にも適し居り且つ待合室化粧室等の設けさへありて尙は集會、相談會等には實費にて席貸をなす由なるが小食堂は尤も輕便に洋食一品づゝの誂へ其他朝日生ビール及びアイスクリーム其他コーヒー紅茶一杯にても注文に應ずる由

●京城昨今の暑氣

京城測候所の觀測に依れば去る七月以來高氣壓は日本海中部に固定し南東の微風吹き暑氣強くし日々最高氣温は三十度以上に昇り殊に一昨九日は三十三度(華氏九十一度)に達し本年中未だ見ざる高極を呈せり然れども之れを近年の絶對最高に比すれば稍々低度なり

年	攝氏	月日
四十一年	三三、六	八月六日
四十二年	三五、六	八月八日
四十三年	三二、三	七月三十日
四十四年	三三、〇	八月九日

京城花柳評判記（四）

(地廻り) 處で鄙家の揶翠はどうでげすな。(消息通) 昨今兎角振ひませんが、なにしろ藝者仲居を通じてあゝ苦情が多くては前途が思ひ遣られます、夫れに勘定がべら棒に高價と言ふ客の苦情もちよい〳〵承りますが、人氣商賣に苦情は禁物ですから今の内に何とか改良して貰ひたいものです。(道樂) 一體あの不扶監禁とか言ふのは何うしたんでしょう。(消息通) あれはどちらかと言へば右女助が悪いのサ、彼妓は大体芳町の井筒屋に居たと言ふが、ほんの僅かの間さ、其の以前は向島に久しく出て居たんで、京城へ來る樣になつたのももとはと言へば醜喰ふ蟲もむし〳〵が過ぎた譯さ、彼妓が右女助と號する曰く因縁も、東京の柳派で知らない人はちつとも知らないさる前座ののろけ名だと言ひます、元來うんな心掛けだから浮氣度胸が頗るいゝ、人のうしろも世の義理も思はぬ戀の三瀬川どころの騷ぎやない、開けッ擴げの土用干浮氣と言ふ奴だから、揶翠も世間の手前沈默して居られないので謹愼させた迄の事さ。ごつちかと言へば揶翠の親方なるものが藝者に遠慮して言ひ度い事も言へないと云ふ方、でもないがあんな噂のたつたのは近頃氣の毒を見た樣だ。(今丹) 藝人遊びをしねエ樣な藝者は可笑くないとはよく言ふ奴だが、揶翠や浪花館へ來る樣な三文藝人にチヨツカイを出す樣じや網母しすぎてさもしすぎる、旦那と情夫とを一人で間に合すなどは昔の江戸には無い形だが、これが二十世紀の怜悧な藝者と言ふんだらうだ、ろうまで珠盤から浮氣をしねエでもいゝが、先つ七三位でやつと親類交際の情夫客でもあつて、無理を言つたり言はれたり、泣いて見たり笑つて見たり、そうかと思ふと今日は旦那が來てやがるんだよ、寄せ鍋の系ごんにやく見たいに、豪勢巾をきかしてるの髮結は見たくでもないが、これも商賣だから耐忍して頂戴、その換りきつと遲くも外してくるから、うれまで寢ないで待つて居て下さいなどゝか言ふと、柔和く跳き興けて呉れる樣なのをこしらへて見なせへ、戀が理に落ちて藝人なんぞ眞遍々々しくつて買へるもんぢやないョ。(横やり) 處が京城にはろんな開けた客はない相だ。(惡口) 藝者のかすりを取る事は知つて居て、人一倍萬助を起したがるはべたあるとよ。(駄洒落) うれゝ其筈さ、大体が勘定借ろうかい(漢城花柳界)のお客おやねエか。